

平成 30 年度第 1 回みえライフイノベーション総合特区推進本部会議議事概要

- 1 開催日時：平成 30 年 8 月 23 日（木） 9:00～9:15
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：次のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 みえライフイノベーション総合特区計画の取組状況について

●事務局【ライフイノベーション課長】（資料に基づき説明）

[平成 29 年度末時点の総合特区計画に掲げる数値目標の達成状況]

- ・平成 29 年度末時点の総合特区計画に掲げる数値目標の達成状況については、設定した全ての数値目標を達成し、取組は順調に前進している。

[平成 30 年度の取組]

- ・統合型医療情報データベースについては、事業主体である三重大学医学部附属病院を含む 9 医療機関において、平成 29 年度末には 33.2 万人以上となる医療情報の収集が順調に進められ、利活用に向けた検討を進めている。
- ・県内 7 か所の研究開発支援拠点 MieLIP の主な取組については、資料のとおり。
- ・総合特区支援利子補給金については、引き続き制度周知を図ります。
- ・規制緩和については、事業者等への支援の中で必要な規制緩和を検討していきます。
- ・情報発信、企業訪問等、海外連携、医療・福祉機器等の製品化促進事業、認知症ケア製品等開発・普及加速化事業などの取組により、本県の総合特区の持つポテンシャルを県内外に PR するとともに、新たな製品・サービスの開発につなげていきます。

[今後の行事予定について]

- ・9 月 10 日に三重テラスにおいて、製薬企業等向けに、統合型医療情報データベースを紹介するセミナーと利活用に係る個別相談会を開催します。
- ・10 月 10～12 日に横浜市内で開催される“未病”をテーマとする製品・サービスの展示会「ME-BY0 Japan2018」に参加し、みえライフイノベーション総合特区の取組を PR します。
- ・従来から広域連携を行ってきた岐阜県、広島県等と協力し、11 月 20 日に東京都内で開催される、医療機器の製造販売業者とものづくり企業との交流セミナーへの、県内ものづくり企業の出展を支援します。

☆雇用経済部長

統合型医療情報データベースについて、三重大学が事業主体となって進めているとのことだが、他大学との連携についてはどうか。三重県では東京大学との連携を進めているが活用の可能性はどうか。

●事務局（ライフイノベーション課長）

他大学との連携については、以前から検討を行っている。

東京大学による活用についても、可能性を否定するものではなく、情報交換しながら検討を進めたい。

☆知事

データ収集の目的は、そのデータの解析によって医薬品や医療機器の開発を三重県発で行うことである。東京大学の取組の中での活用など、プレイヤーは外部でも、最後は三重県に裨益すればよい。データは集めるだけでは意味がない。よく相談してやっていくこと。